

- 当社は、多核種除去設備等処理水（以下、ALPS処理水）の取扱いについて、2021年4月に公表された政府の基本方針を踏まえ、ALPS処理水希釈放出設備および関連施設の設計および運用等の具体的な検討を進め、同年12月、原子力規制委員会に「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画変更認可申請書」を提出し、2022年7月22日に認可をいただきました。
- 8月4日、測定・確認用設備や移送設備の設置に向けた配管敷設等に加えて、放水トンネル設置に向けて、立坑（下流水槽）においてシールドマシンの掘進を開始しました。
- 放水口ケーソンの据付工事については、本日（11/18）、放水口ケーソンを安全に据付できる気象・海象条件が整う可能性があることから、昨日夕方、小名浜港から福島第一原子力発電所の沖合に向けて出港することとしました。
- なお、放水口ケーソン据付が終了後、その翌日以降、気象・海象条件が整い次第、放水口ケーソン周囲をコンクリートプラント船を使って、モルタルおよびコンクリートによる埋戻しを順次行ってまいります。
<11月17日までにお知らせ済み>

- 本日、気象・海象の状況を確認した上で、午前6時15分から、放水口ケーソンの据付に向けた準備作業を福島第一原子力発電所沖合で開始し、午後0時20分にケーソン据付を完了しました。
- 今後、引き続き気象・海象等を注視しながら、放水口ケーソン周囲の埋戻し等の工事を安全最優先で実施してまいります。

放水口ケーソンの据付工事の様子

- 本日、気象・海象の状況を確認した上で、午前6時15分から、放水口ケーソンの据付に向けた準備作業を福島第一原子力発電所沖合で開始し、午後0時20分にケーソン据付を完了しました。



放水口ケーソンの据付工事の様子①



放水口ケーソンの据付工事の様子③



放水口ケーソンの据付工事の様子②

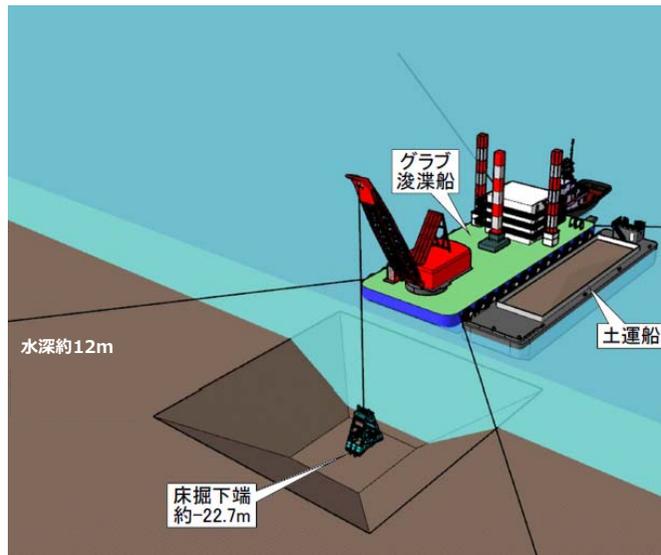


放水口ケーソンの据付工事の様子④

【参考】放水口ケーソン（工事全体概要）

- 放水トンネルの出口の海底掘削および捨石投入・ならし作業およびその確認が7月22日に完了しています。明日以降準備が整い次第、気象・海象をみながら、大型起重機船で鉄筋コンクリート製のケーソン（コンクリート製の大きな箱）を海底に据え付けます。その後、ケーソンの周囲をコンクリートで埋め戻します。
- なお、放水トンネルを掘進したシールドマシンがケーソンに到達した後、放水口ケーソンからシールド到達管（シールドマシン内包）を起重機船で撤去します。

－ 環境整備（実施済み）－



【岩盤掘削・ケーソン製作】

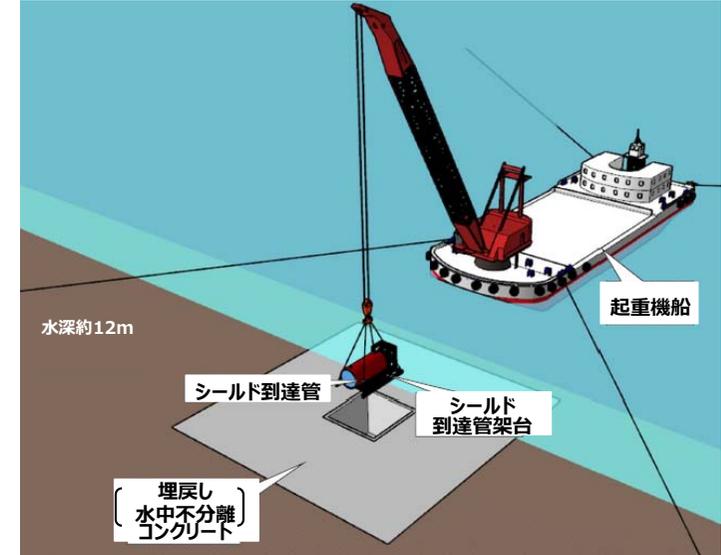
1. グラブ浚渫船（海底掘削船）で岩盤を掘削
2. 掘削土を発電所構内に搬入
3. 基礎捨石を投入

－ 放水口ケーソンの設置工事 －



【ケーソン据付】

1. 発電所構外から海上運搬したケーソンを大型起重機船で据付
2. ケーソン周囲をコンクリートで埋戻し
3. シールドマシン到達に向け、ケーソンと連結した鋼製の測量檣を用いて、放水口の位置情報を管理

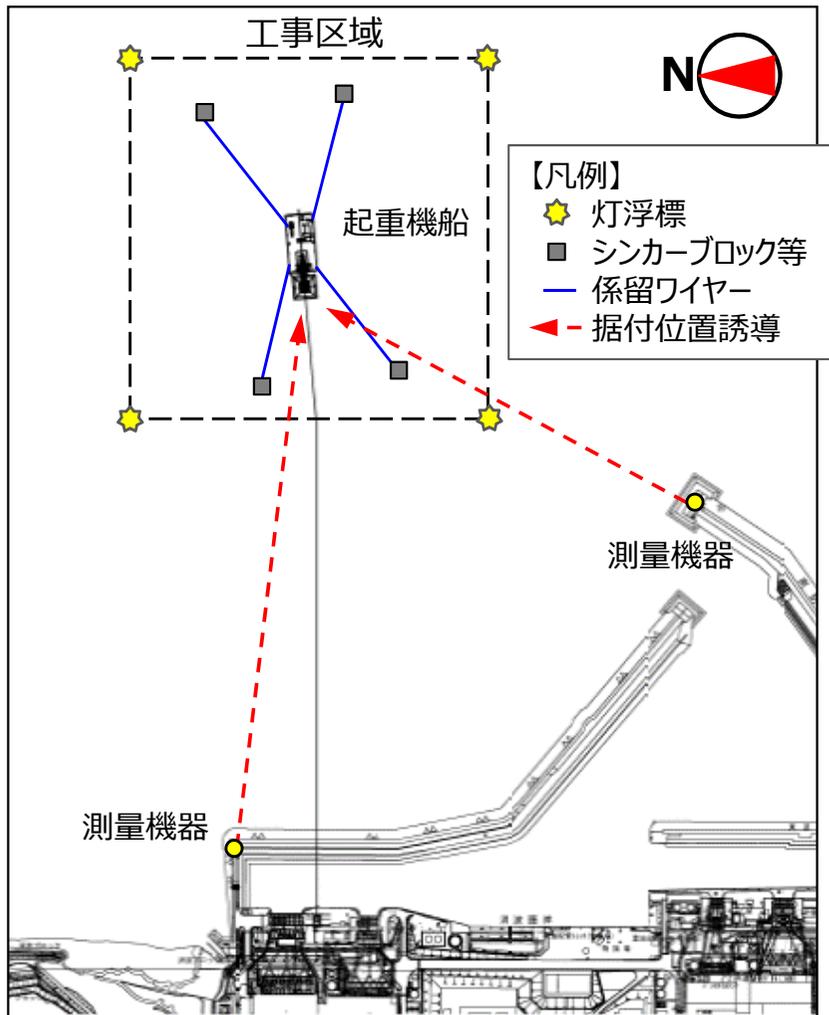


【掘削機撤去・蓋据付】

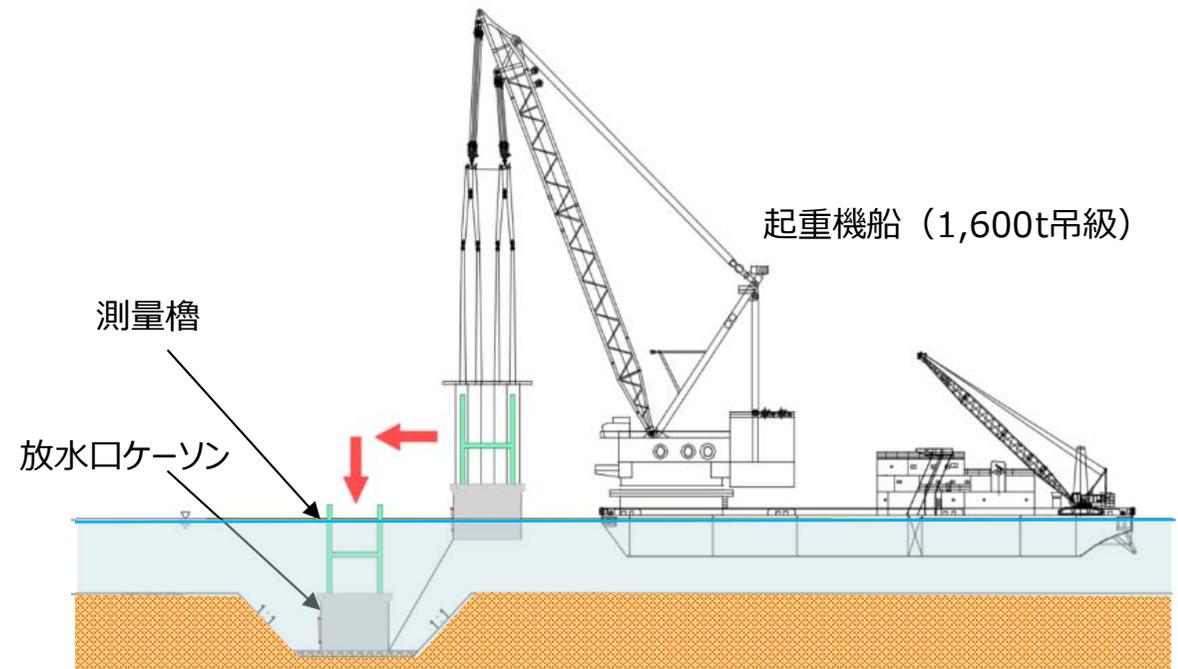
1. シールドマシンがケーソン内部のシールド到達管に到達した後、トンネル内を海水で満たす
2. 回収装置とトンネルを切り離し、起重機船でシールドマシンを立坑から回収
3. 最終的にケーソン蓋を据付

【参考】放水口ケーソン（放水口ケーソン据付）

- 事前に設置したシンカーブロック（110t）およびアンカーに、起重機船を係留ワイヤーで固定します。
- 起重機船に設置したGPSおよびケーソンに設置された測量櫓を陸側（南防波堤、北防波堤の二箇所）から測量することで、据付予定位置に起重機船を誘導します。当該起重機船の位置決め
の微調整は、係留ワイヤーを起重機船のウインチによる巻取り・繰出しを行いながら実施し、据付位置
まで移動後、放水口ケーソンの据付けを行います。



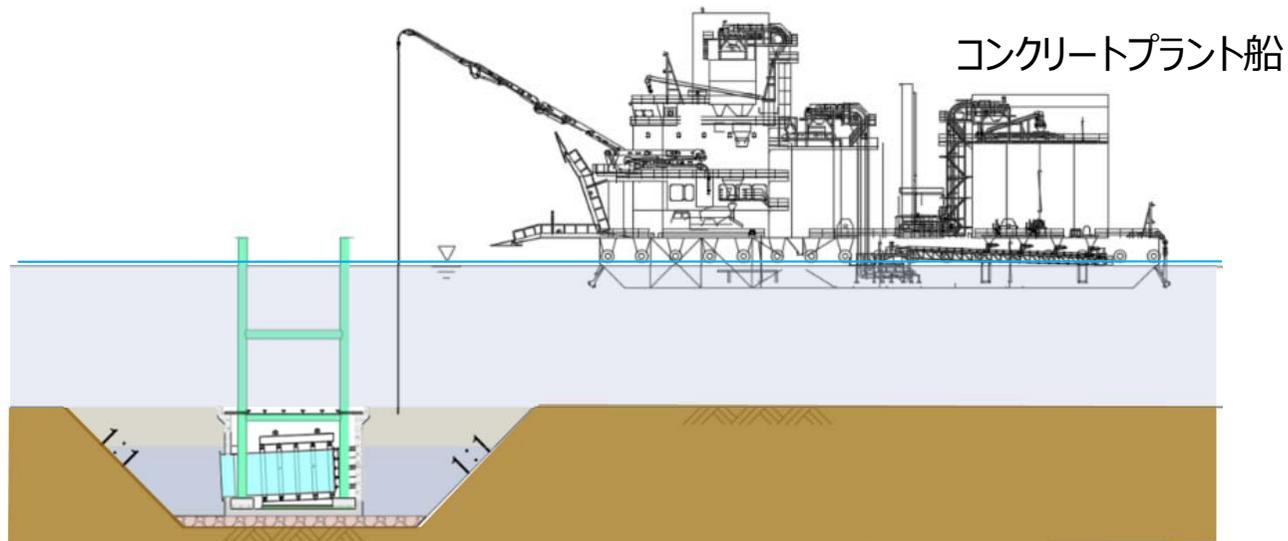
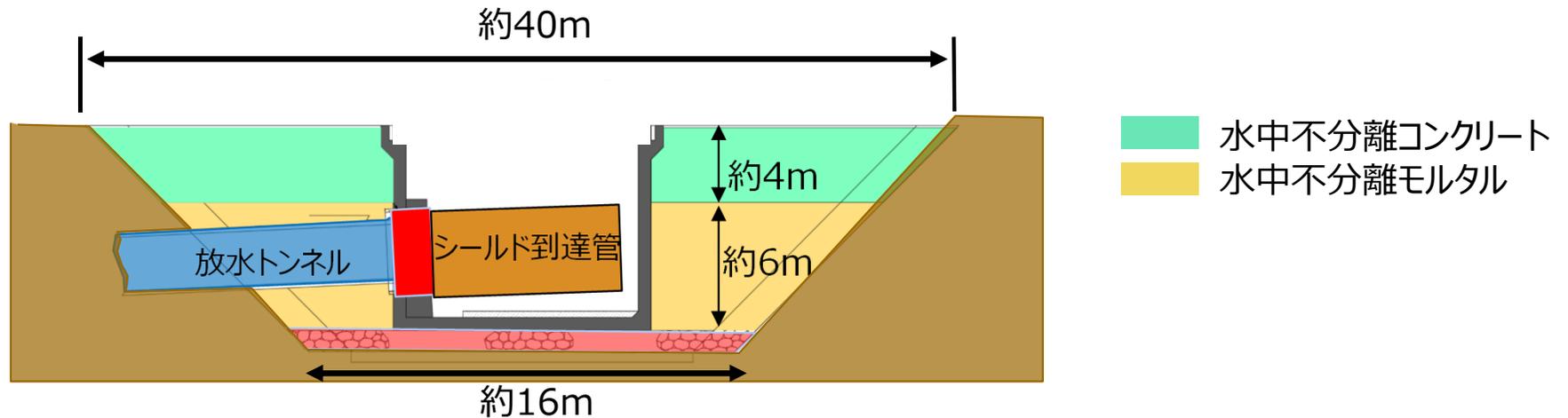
放水口ケーソン据付作業イメージ図（平面）



放水口ケーソン据付作業イメージ図（断面）

【参考】放水口ケーソン（埋戻し）

- 放水口ケーソンの据付後に、放水口ケーソンの周囲に、コンクリートプラント船から水中不分離モルタル（シールドマシンが通過する部分）、水中不分離コンクリートを打設して、埋戻します。



埋戻し断面イメージ図